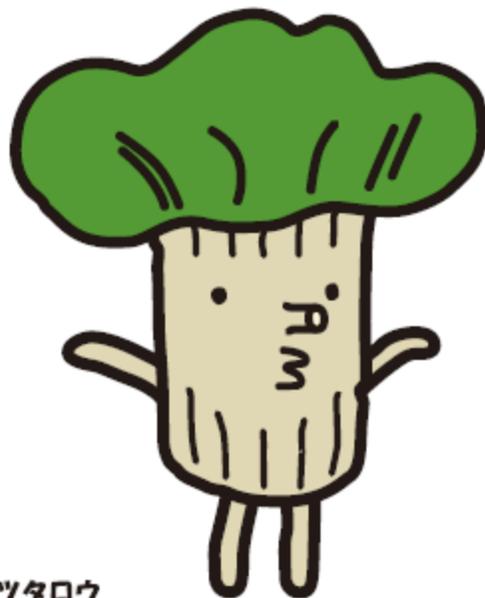


2016年度 第2四半期

決算概況と今後の事業展開について



マツタロウ



ロジータ

つなぐを化学する
荒川化学工業株式会社

本日の内容

1. 第4次中期5カ年経営計画の概要
 2. 決算概況と今期予想
 3. セグメント別情報
 4. 事業と製品
 5. 140周年記念事業のトピックス
 6. 株主還元策
- 参考資料

1. 第4次中期5カ年経営計画の概要

(2016～2020年度)

Dramatic SHIFT 1

永続的な成長のため、劇的な経営資源の再配置や最適化により、事業の変革を実現し、全社“1”丸となって真のグローバル化を目指す。

基本方針と3つの重点項目

SHIFT 実現体制の構築と事業の新陳代謝の実践

1

SHIFT 実現体制の構築

2

事業の新陳代謝の実践

3

真のグローバル化と
ガバナンス体制強化

経営目標（連結）

	2015年度	2018年度 （目標）	2020年度 （目標）	5カ年 伸率（%）	（百万円）
売上高	79,119	88,000	100,000	+26.4	
営業利益	3,639	4,600	5,800	+59.4	
経常利益	3,851	4,800	6,000	+55.8	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,311	2,900	3,700	+60.1	
ROE	5.0%	—	≥6.5%		

2. 決算概況と今期予想

2016年度上期の実績

(百万円)

	2015年度 上期	2016年度 上期	上段：増減額 下段：増減 (%)
売上高	39,182	37,937	△1,245 △3.2
営業利益	1,538	2,553	1,014 +66.0
経常利益	1,714	2,477	762 +44.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,114	1,707	592 +53.2
EBITDA	2,827	3,842	1,015 +35.9

■ 第2四半期（上期）：4～9月の累計

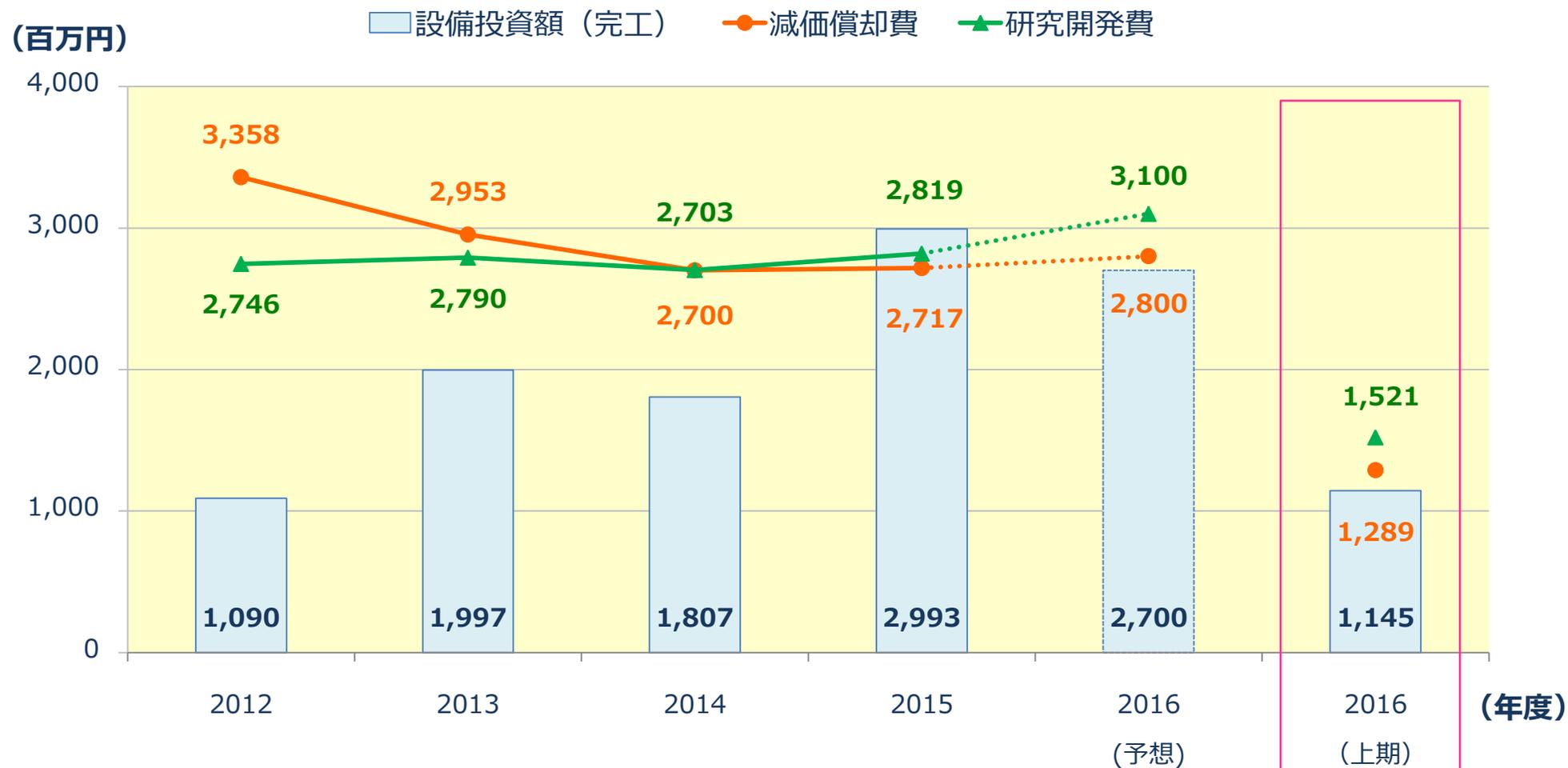
■ EBITDA：償却前営業利益

今期予想

上段：百万円 下段：増減 (%)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 上期	2016年度 予想
売上高	67,796	75,025	81,742	79,119	37,937	75,500
	△4.2	+10.7	+9.0	△3.2	△3.2	△4.6
営業利益	1,881	2,335	2,961	3,639	2,553	4,100
	+5.6	+24.1	+26.8	+22.9	+66.0	+12.7
経常利益	1,934	2,697	3,431	3,851	2,477	4,200
	+4.1	+39.4	+27.2	+12.2	+44.5	+9.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	982	1,487	2,224	2,311	1,707	2,500
	△28.2	+51.3	+49.5	+3.9	+53.2	+8.1
EBITDA	5,021	5,288	5,661	6,357	3,842	6,900
	+1.5	+5.3	+7.1	+12.3	—	+8.5
ROE	2.6	3.7	5.0	5.0	—	5.1

■従来、技術供与先から受け取る技術料収入を営業外収益に計上しておりましたが、2013年度より「売上高」に表示しております。

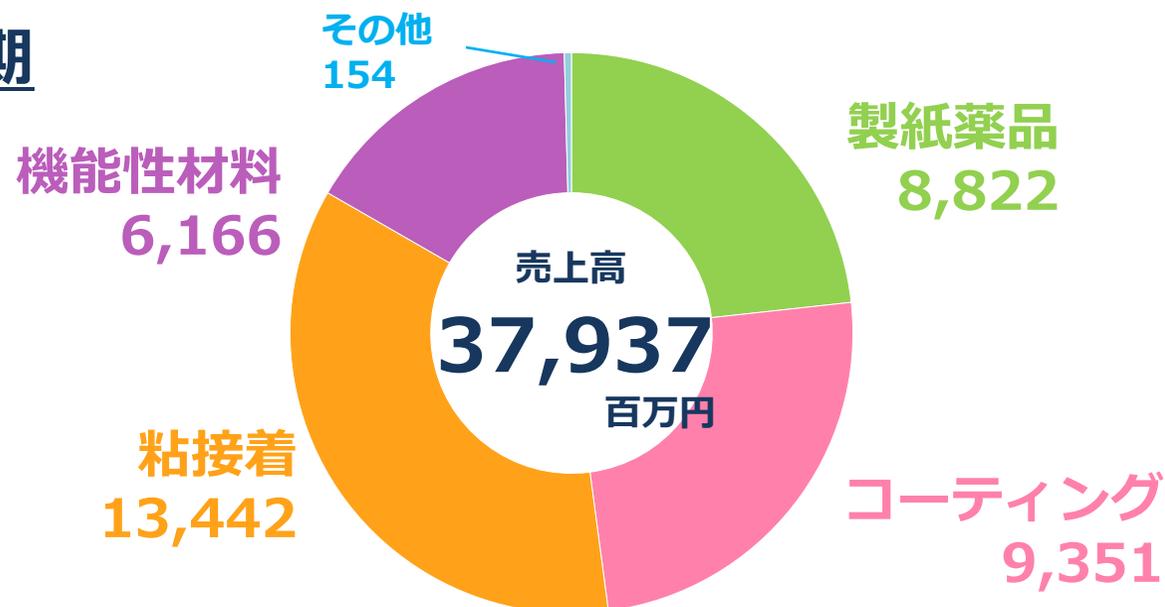
設備投資および研究開発投資



3. セグメント別情報

セグメント別業績と事業内容

2016年度上半期



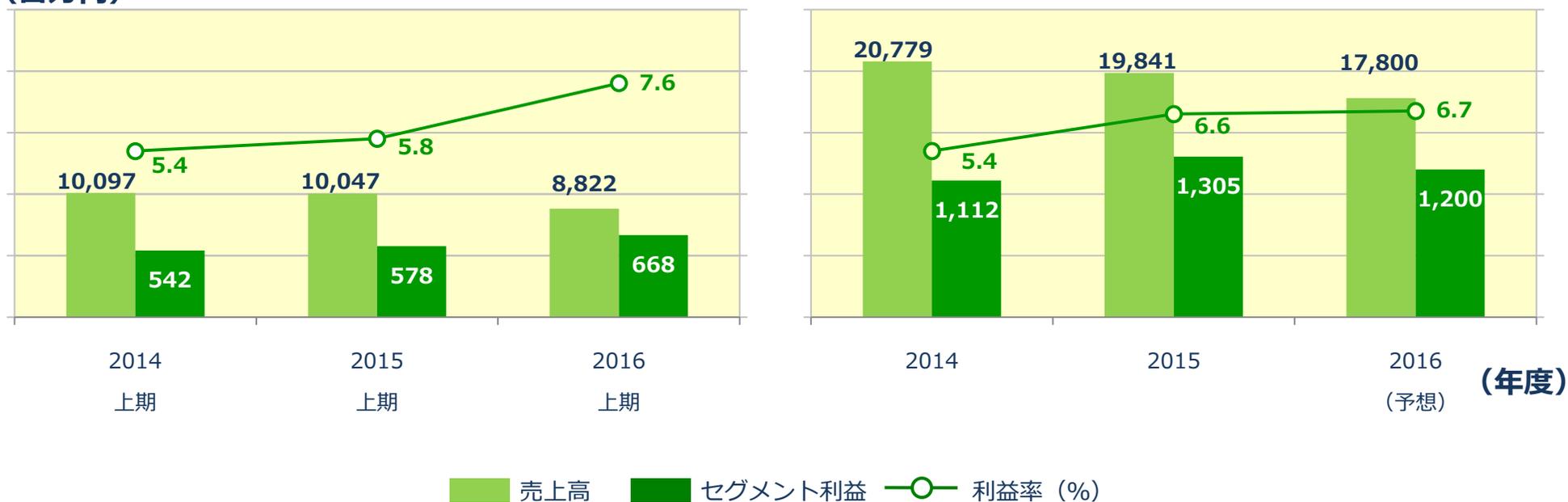
セグメント	事業内容
製紙薬品	サイズ剤、紙力増強剤、塗工紙用薬品等
コーティング	印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、光硬化型樹脂等
粘接着	粘着・接着剤用樹脂、超淡色ロジン等
機能性材料	電子材料用配合製品、機能性ファインケミカル製品、精密研磨剤、精密部品洗浄剤および洗浄装置等

製紙薬品事業

【減収増益】

- **製紙薬品**の販売は、国内外とも前年を下回るも、海外子会社の寄与もあり増益

(百万円)

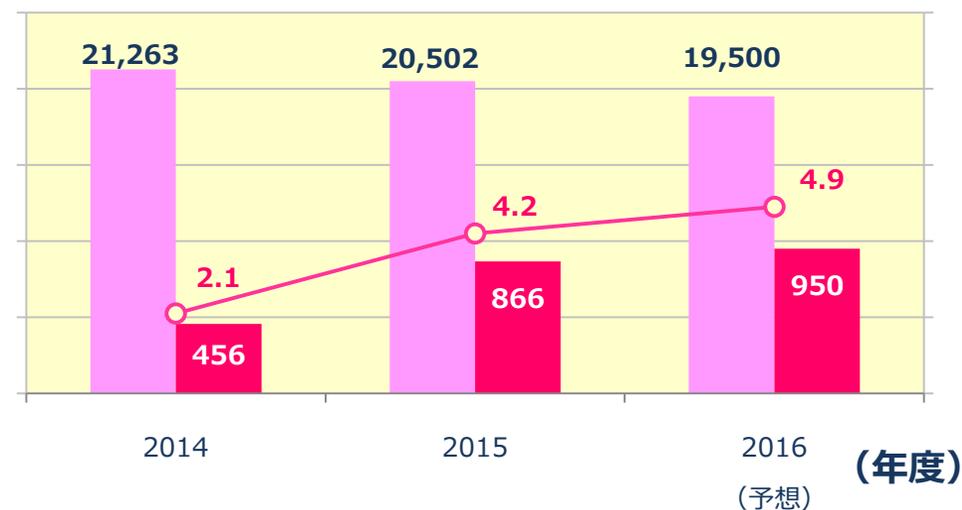
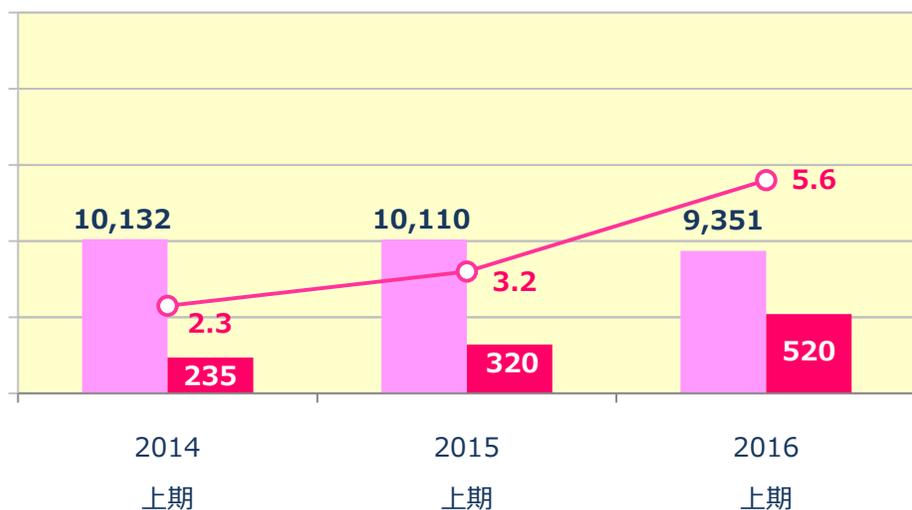


コーティング事業

【減収増益】

- 印刷インキ用樹脂は、海外で食品包装用が増加も、国内で出版用などが減少
- 機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は回復傾向が継続

(百万円)



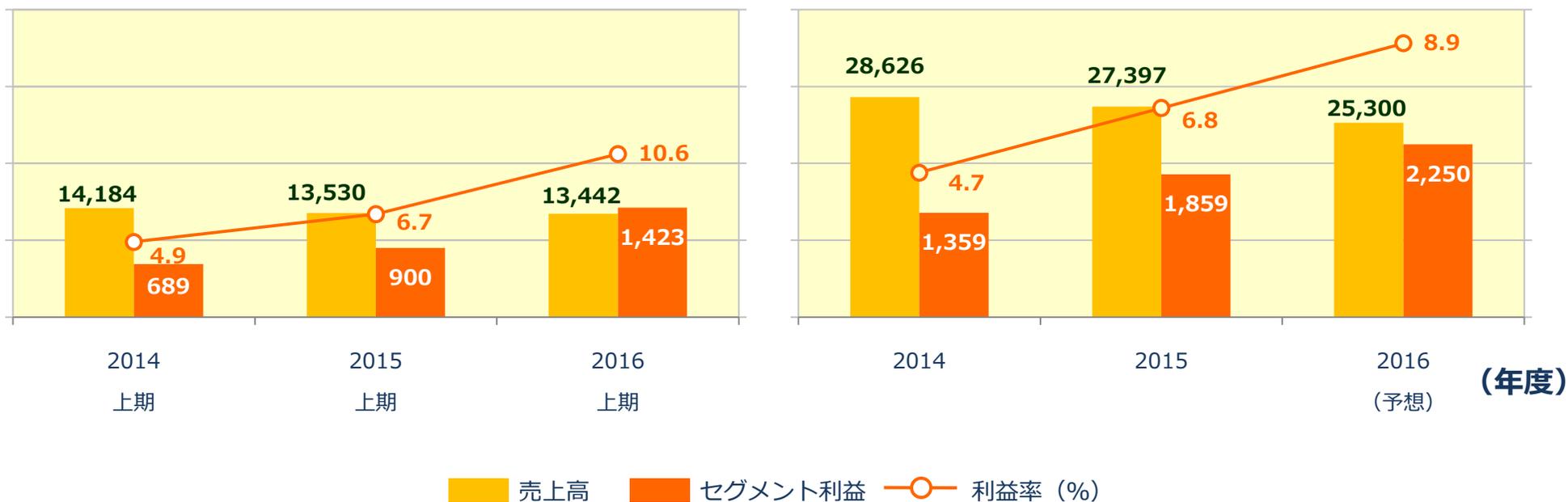
売上高 セグメント利益 利益率 (%)

粘接着事業

【減収増益】

- 水素化石油樹脂の販売が好調に推移
- アジア地域を中心にロジン系粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移

(百万円)

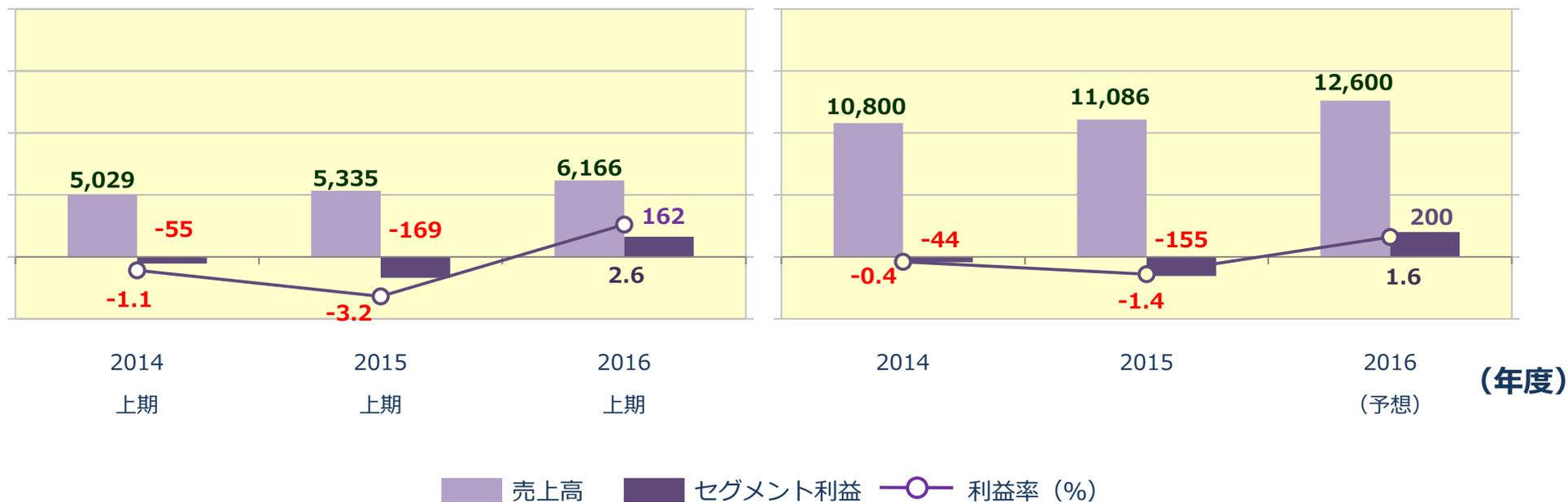


機能性材料事業

【増収増益】

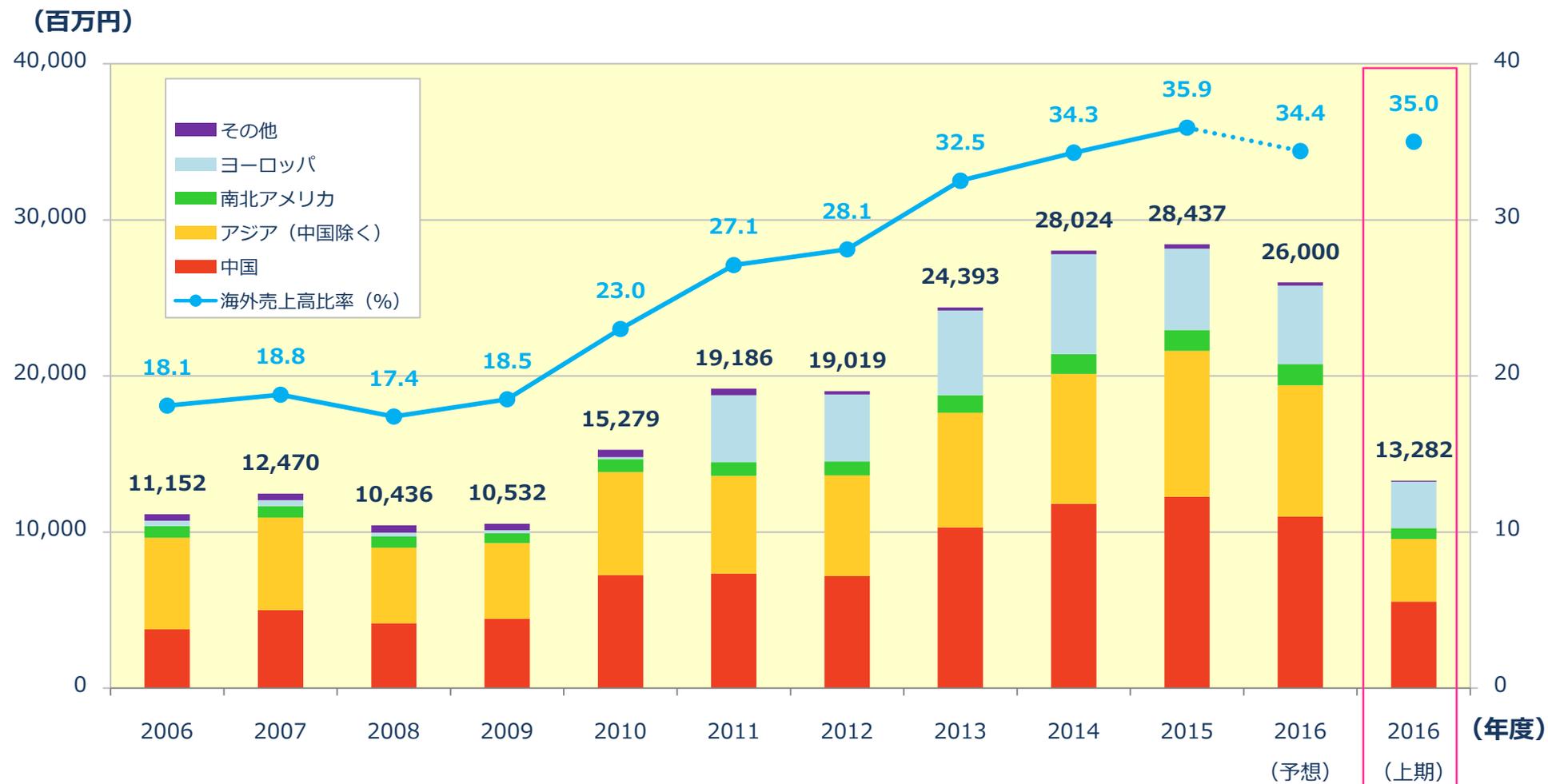
- 機能性ファインケミカル製品や精密部品洗浄剤が回復傾向
- 精密研磨剤が寄与

(百万円)



海外売上高・比率 推移

■ 2020年までに海外売上高450億円、海外売上高比率45%を目指す



海外売上高（製品別）

■ 原材料安、円高の影響

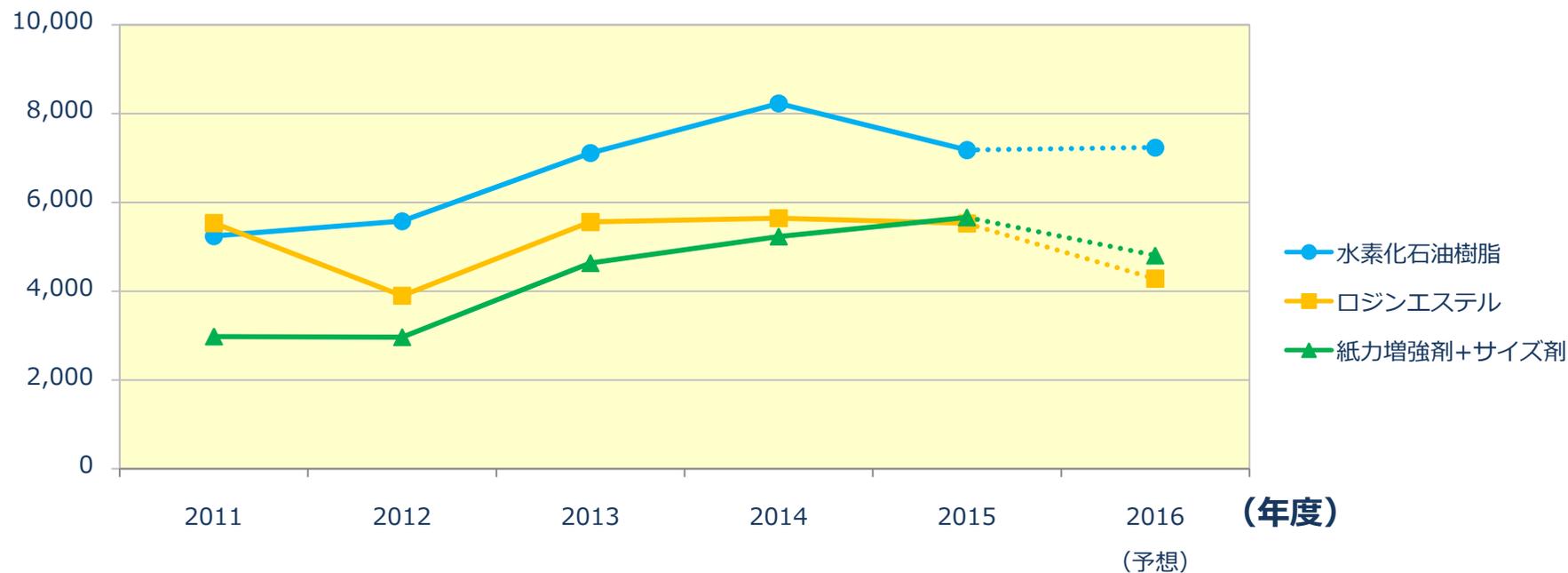
製紙薬品事業

紙力増強剤、サイズ剤

粘接着事業

水素化石油樹脂、ロジンエステル

(百万円)



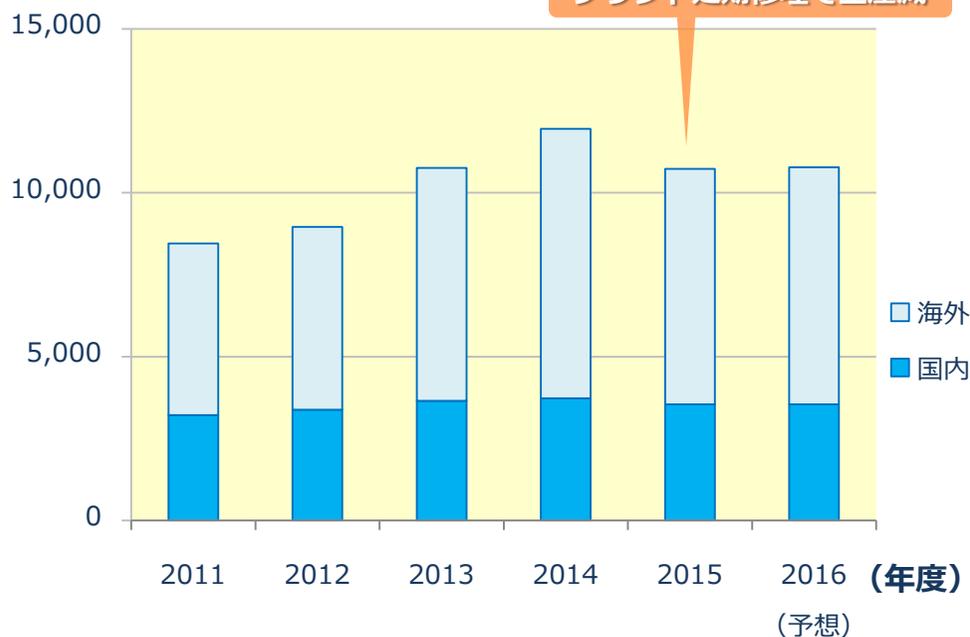
4. 事業と製品

粘接着

水素化石油樹脂 アルコン

- 1965年に上市（世界初）
- 共同事業化検討開始 ⇒ 原料の効率的・安定的調達、インフラ有効活用
- 紙おむつ用接着剤で伸長 ⇒ 国内高齢化でおとな用需要拡大、新興国生活水準向上

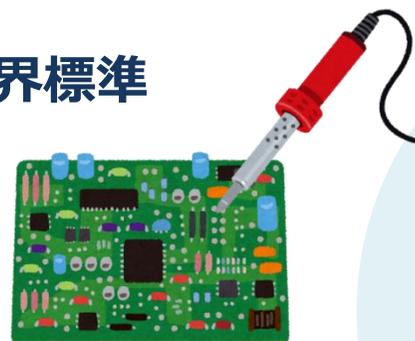
売上高（百万円）



粘接着

超淡色ロジン パイנקリスタル

- 鉛フリーはんだ用フラックスの**業界標準**
- **ライフサイエンス**分野にも進出
- 超淡色**液状**ロジンエステル開発



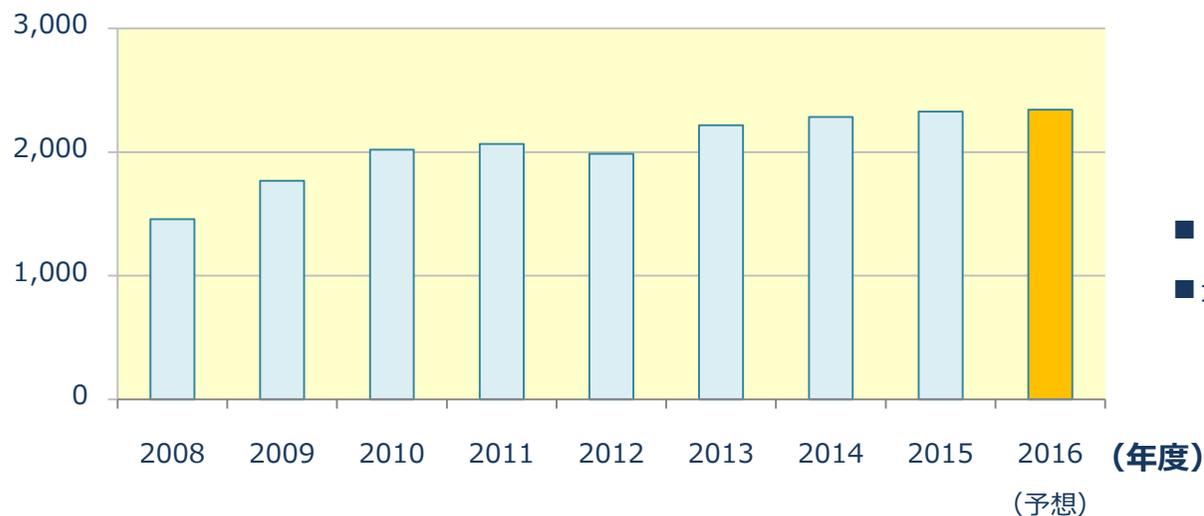
■ 鉛フリーはんだ用フラックス

オンリーワン製品

- ほぼ無色、不純物が少ない
- 熱安定性がよい



売上高 (百万円)



- 3Dプリンター関連部材
- 光学フィルム関連部材



■ 医療用ハップ剤



コーティング

光硬化型樹脂 **ビームセット**

- 光で瞬時に固まり、省エネルギー
- 環境にやさしい（VOC削減）
- フィルムコーティングの高機能化に

■ ディスプレイ

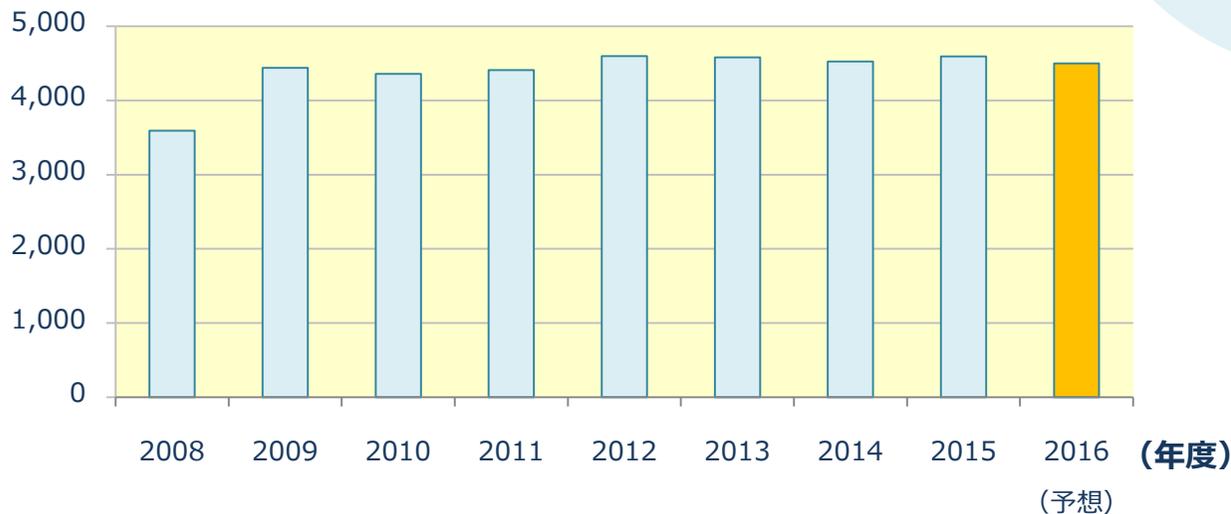


- IC生産工程用
- 印刷インキ・塗料
- クリアワニス

■ スマートフォン



売上高（百万円）



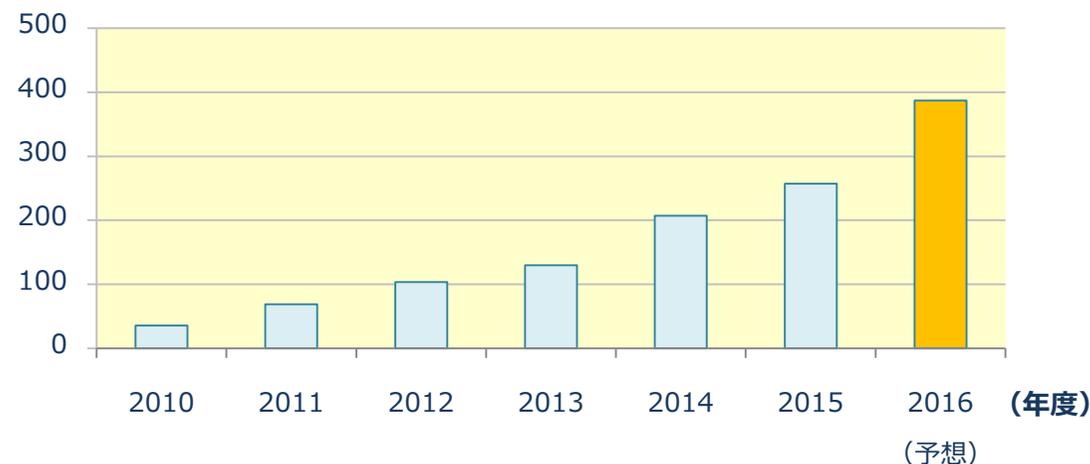
コーティング

フィルム用機能性コーティング剤 アラコート

- 2液熱硬化タイプ
- 多様化するニーズにも対応

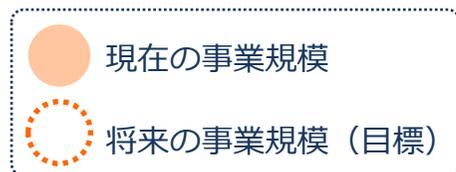
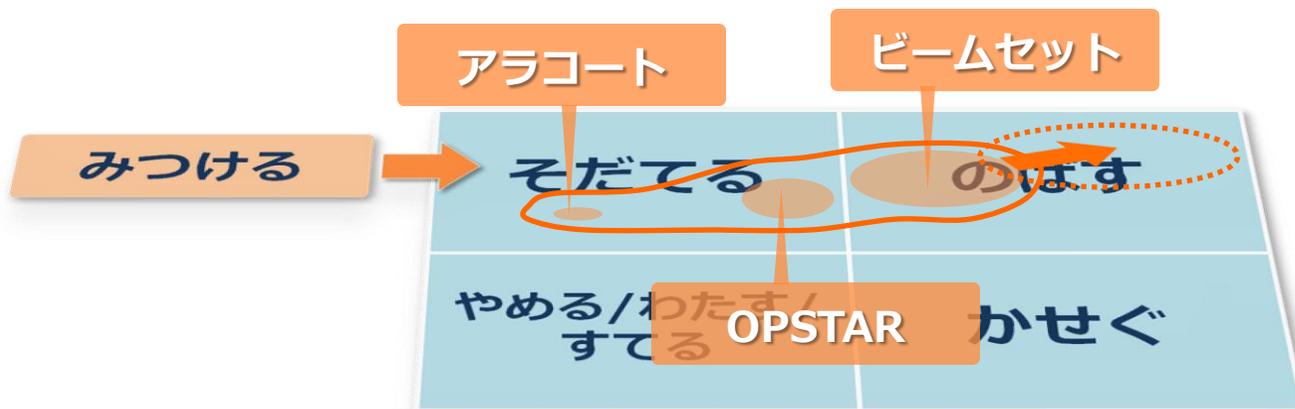
- UVコーティング用アンカー剤
- 蒸着用アンカー剤
- 帯電防止コーティング剤

売上高（百万円）



■ JSR(株)液晶ディスプレイ用途の機能性コーティング剤「OPSTAR」事業譲受（10月1日）

⇒「OPSTAR」と「ビームセット」「アラコート」などとの相乗効果を高め、事業拡大へ



■ 中計における「事業の新陳代謝」図
（参考資料P.52参照）

グループ会社の**連携強化**

- **経営資源の融合**により、相乗効果を早期に創出する
- 海外販売子会社とも連携し、**販売強化**



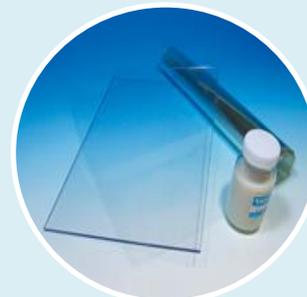
荒川化学

- 洗浄技術など



高圧化学

- 高圧水素化技術
- ファインケミカ製造



ペルノックス

- 配合技術
- 分散技術



山口精研

- 精密研磨技術

連携を強化

5. 140周年記念事業のトピックス

140周年記念事業のトピックス

『経営理念の共有』 ARAKAWA WAY 歴史の再認識

- **140周年式典開催** …グループ社員と共に140年の歩みを振り返り、思いを共有（歴史VTR放映）

『関わりあう人々への感謝』 広報活動・株主さまへの還元

- **記念配当** … **1株当たり普通配当30円に、2円の140周年記念配当（年間配当32円予定）**
- **新キャラクター** … 「ロジーナ」誕生
- **広告出稿** … TVCM、新幹線「新大阪駅」ホーム、大阪市営地下鉄中吊り、新聞（日経、読売、毎日他）
- **インタビュー掲載** … 業界専門誌「月刊 化学経済」に社長インタビュー掲載
- **「学びのフェス」出展** … 「楽しく化学する」をコンセプトに小学生対象の体験学習イベントに出展

『永続的な発展のために』 未来へつなぐプロジェクト

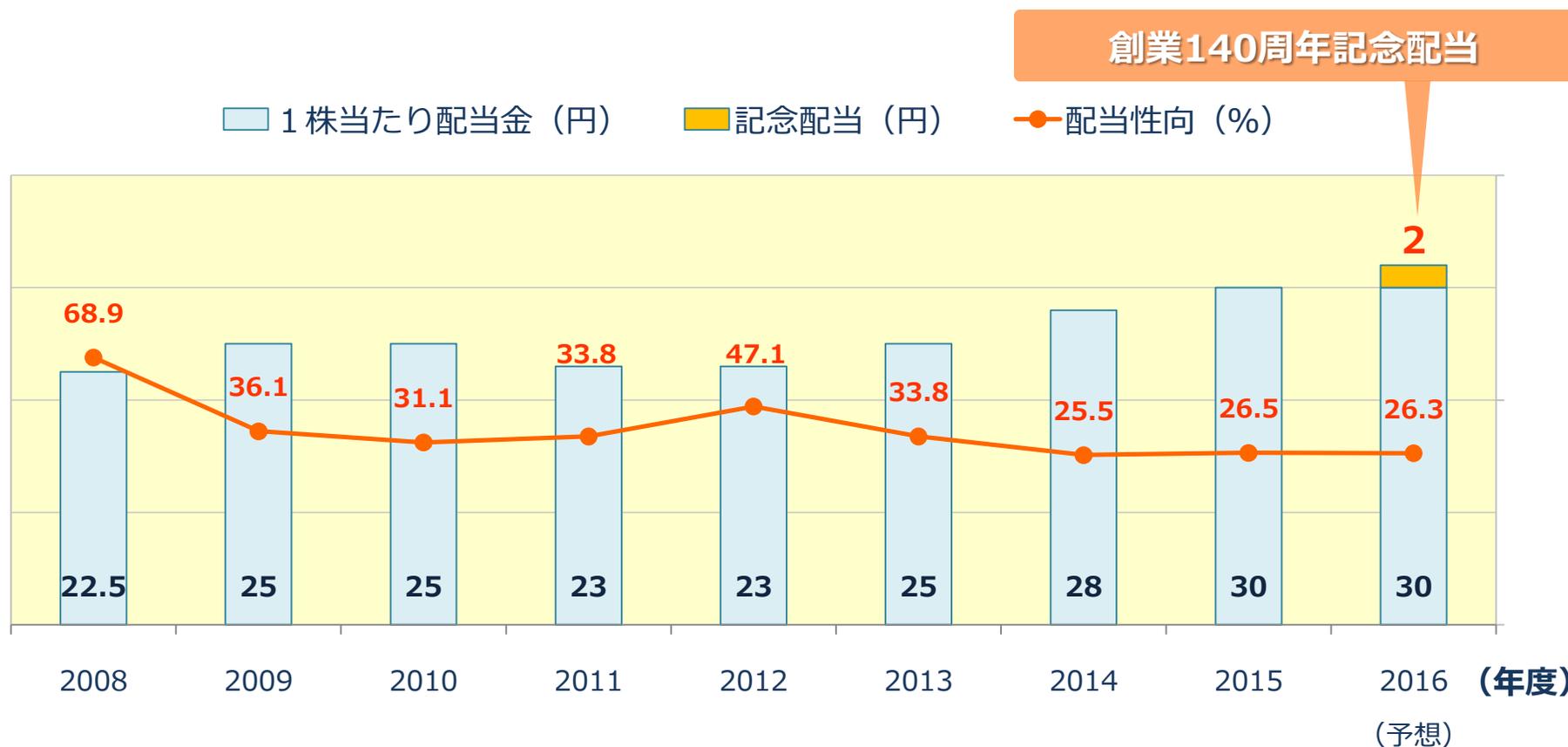
- **マツタロウの森** … 岡山県「企業との協働の森づくり」事業に賛同。アカマツの植栽などに取り組んでいく
- **技術の伝承** … グループ会社を含め、ノウハウを洗い出し、情報の集約・管理をおこなう

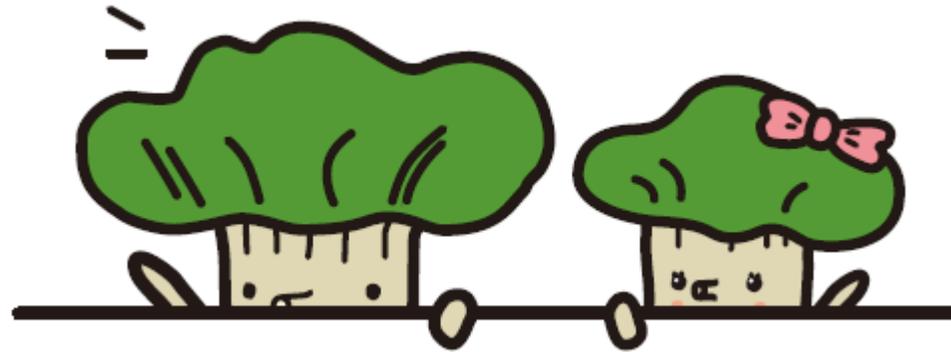


6. 株主還元策

配当金の推移

- 配当性向は安定的、継続的かつ積極的を基本方針として30%を目指す
- 1株当たり普通配当30円に2円の記念配当を加え、年間配当32円を予定





本日はご清聴、ありがとうございました。

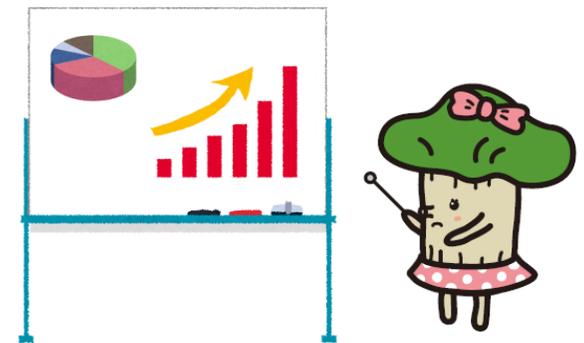
見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。



参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 経営理念とビジョン
- ロジンができるまで
- 事業と製品 補足資料
- 広がるグローバルネットワーク
- 業績推移
- ロジン価格の推移
- 第4次中計 補足資料



会社概要

■ 2016.09.30時点

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 谷奥 勝三
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	33億27万円
従業員数	1,422名（連結）
主要取引先 （五十音順）	<ul style="list-style-type: none">・ 王子ホールディングス・ 関西ペイント・ JSR・ 東洋インキSCホールディングス・ 日東電工



1926年（大正15年）商標登録

当時としてはモダンなアルファベット表記

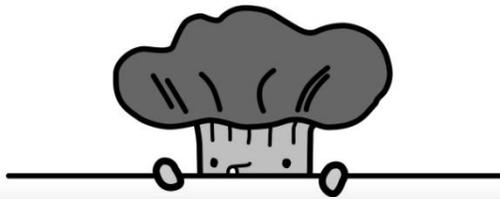
沿革

1876年	(明治9年)	大阪で生薬商として創業
1914年	(大正3年)	鳴野工場を開設し、ロジンの製造開始
1928年	(昭和3年)	ロジン系塗料用樹脂の製造開始
1937年	(昭和12年)	ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
1954年	(昭和29年)	製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
1967年	(昭和42年)	台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
1977年	(昭和52年)	荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
1995年	(平成7年)	中国に梧州荒川化学を設立
1999年	(平成11年)	大証第二部に株式上場
2003年	(平成15年)	東証・大証第一部に株式上場 日本ペルノックス（現 ペルノックス）が当社グループに加入
2004年	(平成16年)	中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
2008年	(平成20年)	中国に広西梧州荒川化学を設立
2010年	(平成22年)	ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得
2011年	(平成23年)	中国に荒川化学合成（上海）有限公司を設立
2012年	(平成24年)	台湾に柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立
2014年	(平成26年)	台湾に日華荒川化学股份有限公司を設立
2015年	(平成27年)	山口精研工業が当社グループに加入

明治9年 大阪 道修町で創業

- 安政3年（1856）には生薬商「玉屋」を営んでいたが、「荒川政七商店」と改名した明治9年（1876）を創業年としている
- 屋号「玉屋」の商標はカクタマ印（玉に□）で表記

明治末期の道修町



商店時代の看板



荒川商店の取扱商品に
松脂（ロジン）が含まれていた

経営理念とビジョン

経営理念

個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する

ビジョン

つなぐを化学する

SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

ロジンができるまで

採脂



集荷



入荷



ロジン
完成!



蒸留



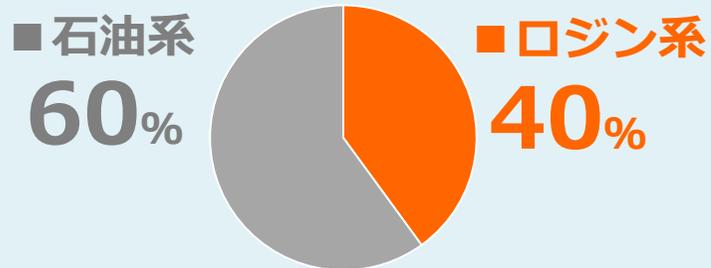
ココにも！ 荒川化学

私たちの技術は、身近なところで使われています。

その特徴は、何かと何かを「**つなぐ**」こと。

⇒**荒川化学の「つなぐ」技術が材料に働きかけ、機能を付与する**

国内最大のロジン加工メーカー

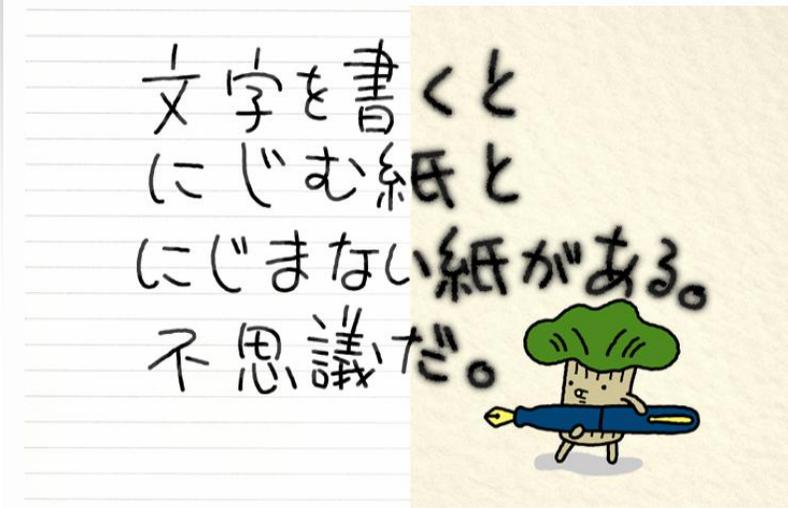


製品の原料別比率
※2015年度売上高ベース



サイズ剤、紙力増強剤

■ 紙力増強剤 国内シェア1位



サイズ剤あり サイズ剤なし

■ 洋紙

■ 段ボール



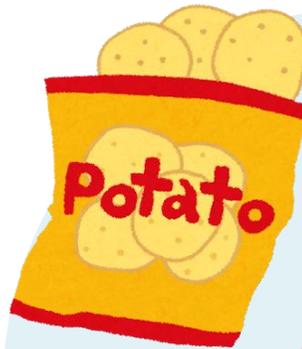
印刷インキ用樹脂

■ 印刷インキ用樹脂 国内シェア1位

- ・ 海外で**食品包装用**が増加



■ 食品包装用

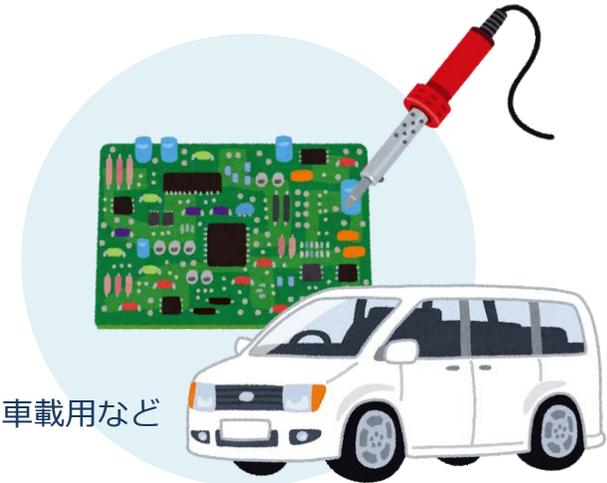


■ 新聞、雑誌、ポスターなどの印刷物



はんだ

- **ロジン技術を駆使した優れたはんだ製品**
- **ソルダペースト** (車載用など)
- **ポストフラックス** (フロー用、端末端子用)



売上高 (百万円)



精密部品洗浄システム

■ 1液型フラックス洗浄剤「ST-251EVA」で「産業洗浄優秀新製品賞」受賞

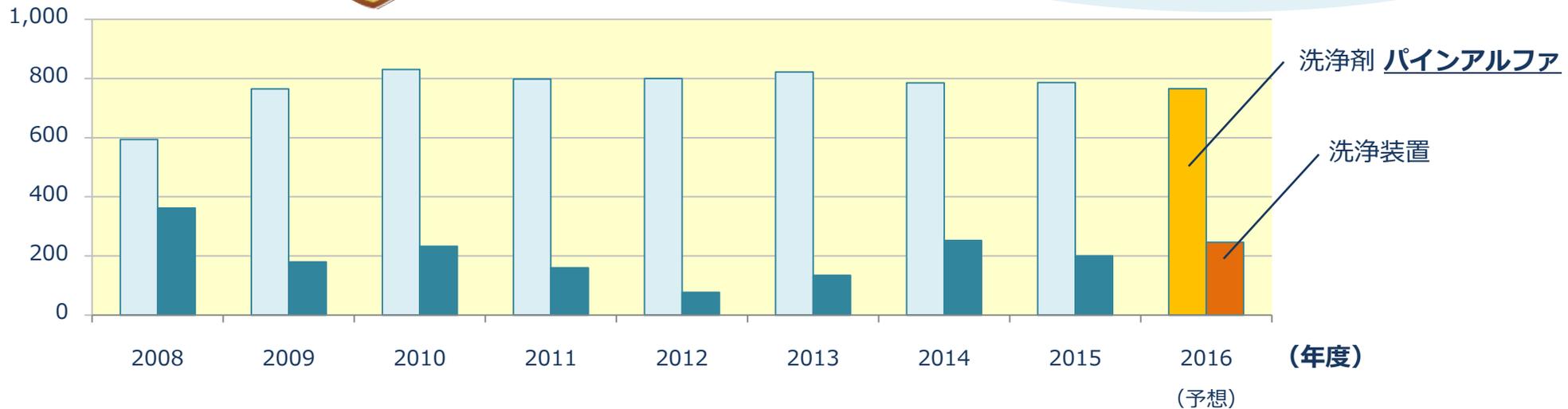
- ⇒高洗浄力・低ダメージ (従来品の洗浄力を維持したまま、樹脂部材へのダメージを低減)
- ⇒高安全性・低毒性 (引火点が無く、防爆設備が不要)
- ⇒高効率・低コスト (洗浄剤の水濯ぎ不要、そのまま乾燥可能。蒸留再生により、ランニングコストを削減)



荒川化学は
廃水ゼロを目指します!

■ 実装基板, FC, HDDハブ, カメラモジュール,
LED, WL-CSP, パワーデバイスなど

売上高 (百万円)



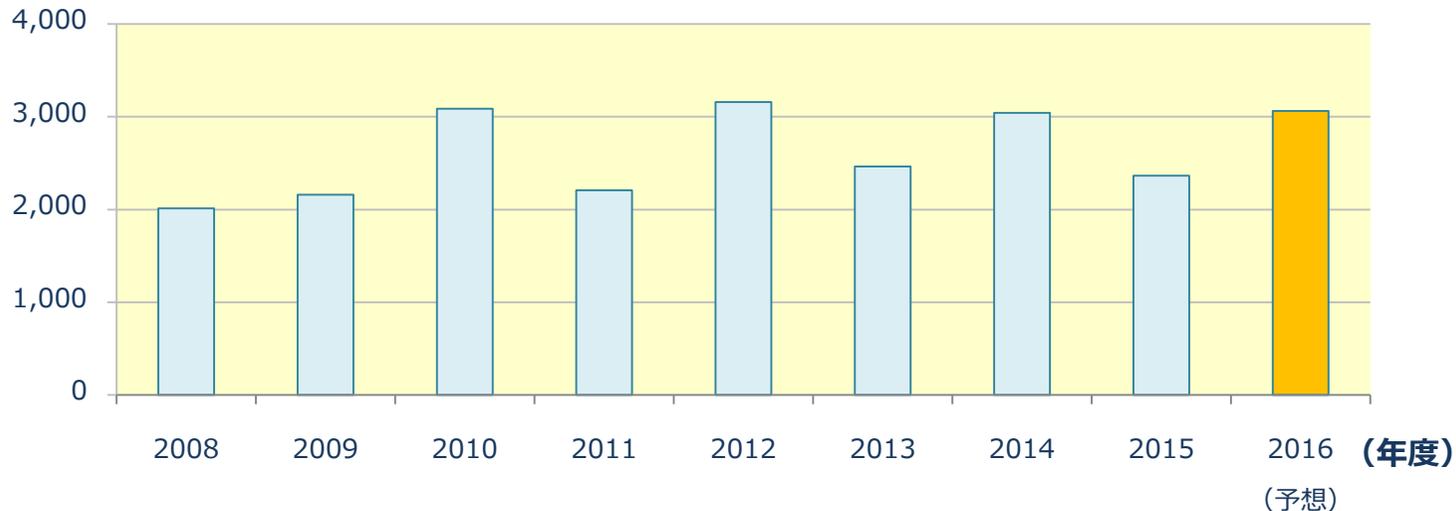
ファインケミカル製品

- 機能性ファインケミカル製品(中間素材)を高度な品質管理体制下で受託製造
- 耐腐食性高圧反応設備 (ハステロイ製) 竣工
⇒アルカリから酸条件下の広範囲のpH域での使用に対応でき、通常の材質では腐食を伴う反応でも生産が可能に。



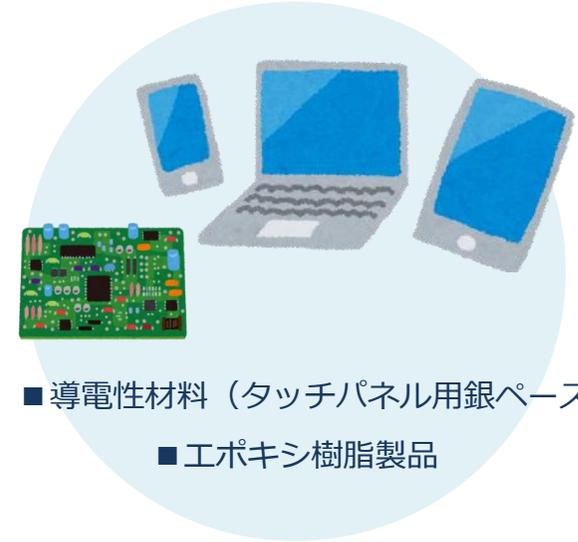
- 電子材料用途
- 医薬品用途

売上高 (百万円)



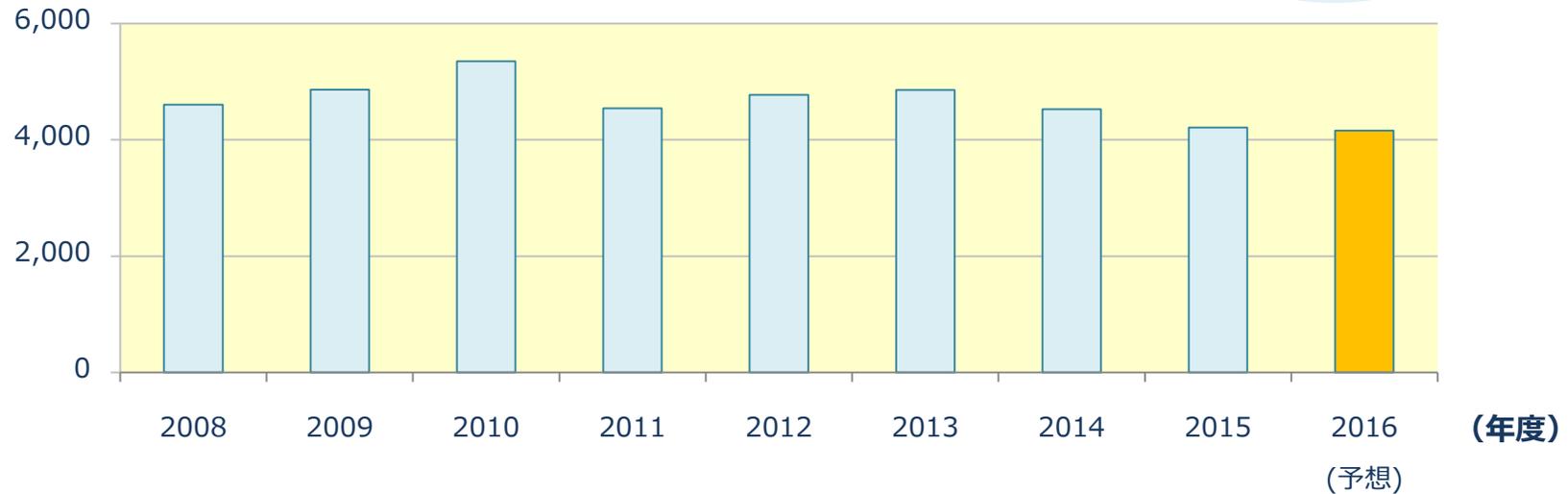
電子材料用配合製品

- エポキシ樹脂、シリコン樹脂などの樹脂とフィラーの配合・分散技術に強み



- 導電性材料 (タッチパネル用銀ペースト)
- エポキシ樹脂製品

売上高 (百万円)

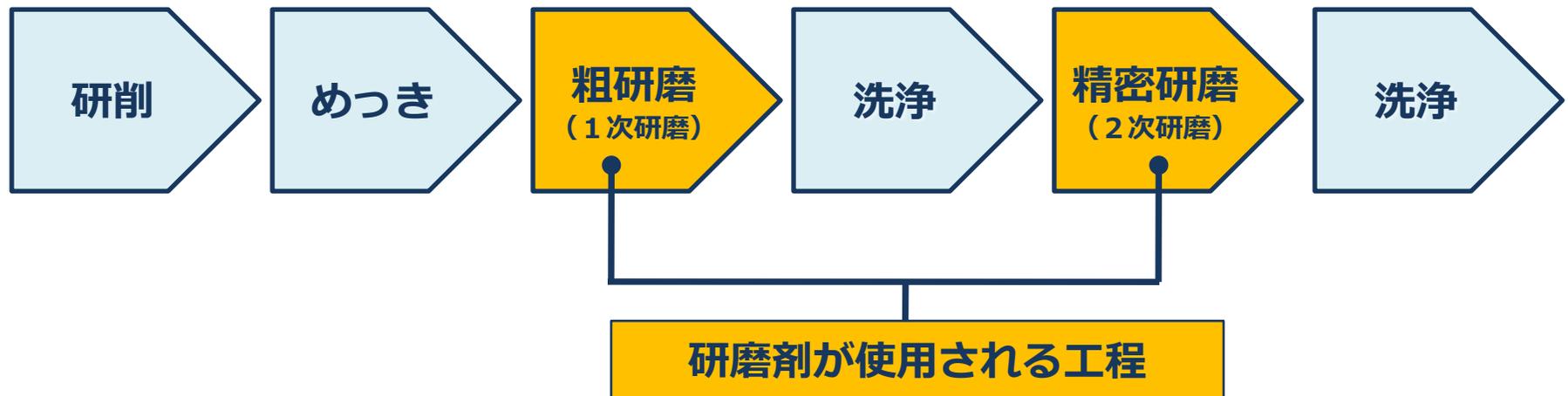


精密研磨剤

- アルミ磁気ディスク用研磨剤を主体に
各種金属などの鏡面研磨剤を扱う



- HDD用アルミ基板
- SAWデバイス用基板



アルミ磁気ディスクの最終製品は データセンター、クラウドサーバ、P C等

広がるグローバルネットワーク



海外事業所

● 製造・販売拠点

荒川ヨーロッパ（ドイツ）
広西梧州荒川（中国）
南通荒川（中国）
荒川ケミカル（タイランド）
台湾荒川

● 販売拠点

荒川化学合成（上海）
荒川ケミカル（米国）
日華荒川（台湾）
ポミランテクノロジー（台湾）
香港荒川

国内事業所

製造拠点

大阪工場
富士工場
水島工場
小名浜工場
釧路工場
鶴崎工場

研究所

研究所（大阪）
筑波研究所

販売拠点

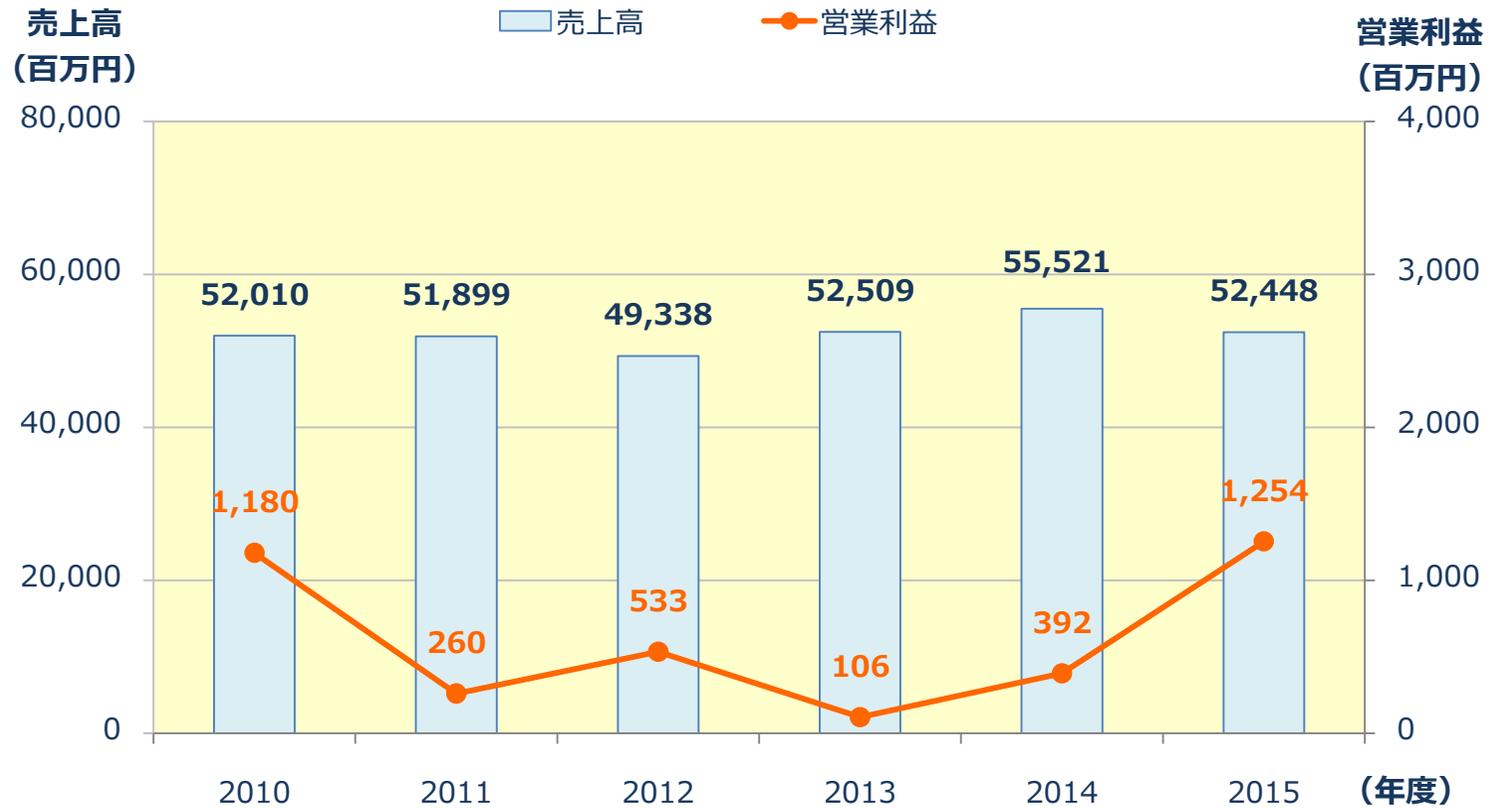
本社・支店2・営業所3

国内関係会社

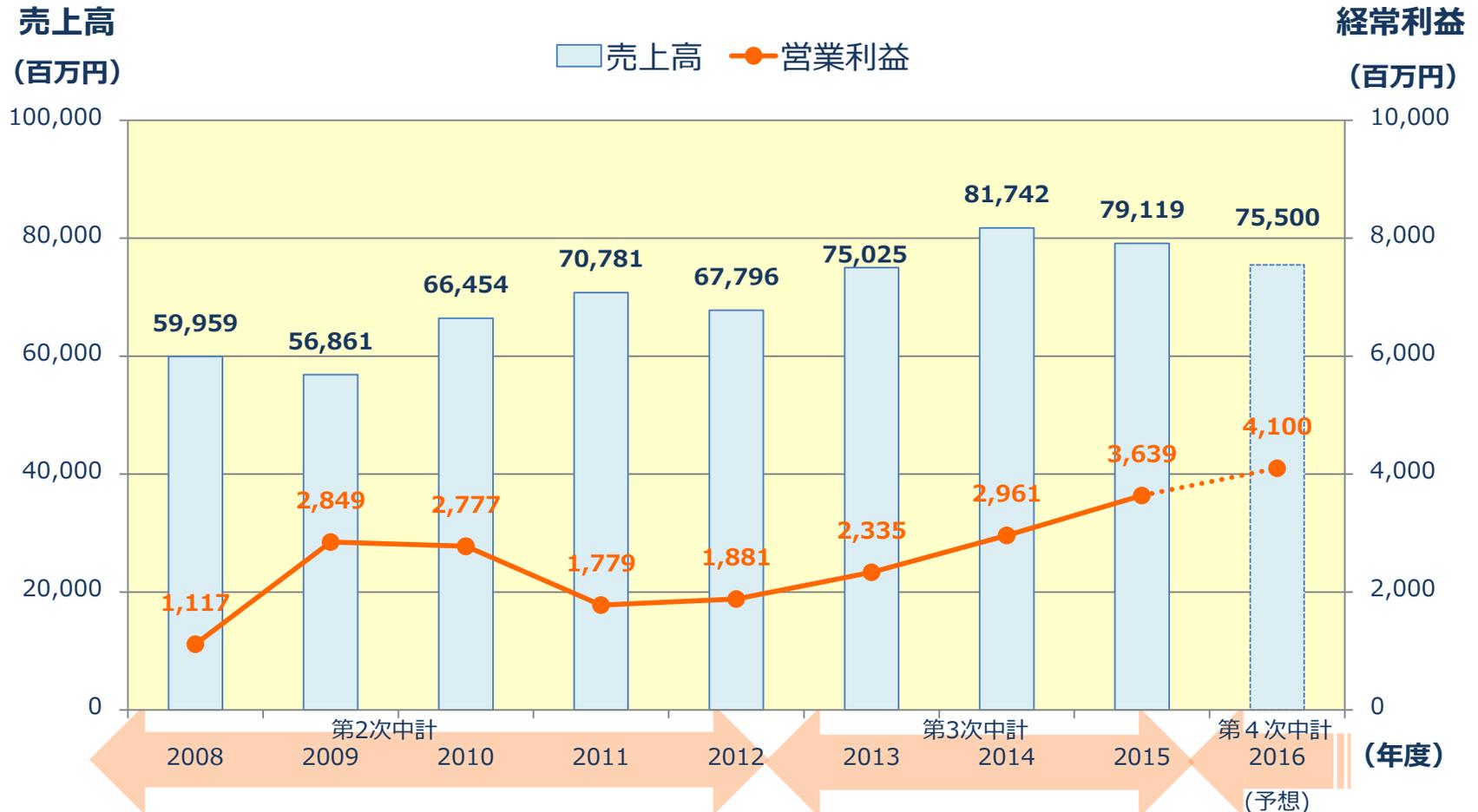
ペルノックス（秦野）
高圧化学工業（大阪）
山口精研工業（名古屋）
カクタマサービス（大阪）



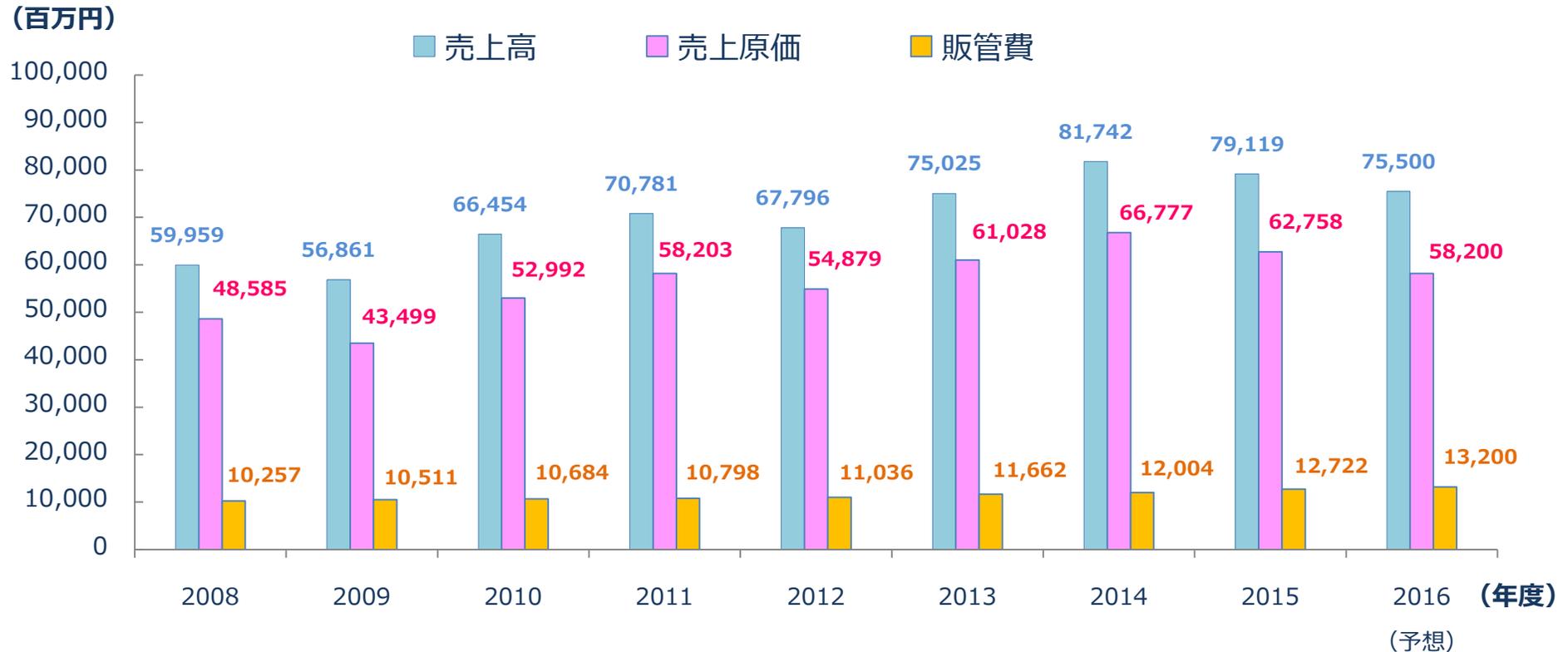
業績推移（個別）



業績推移 (連結)

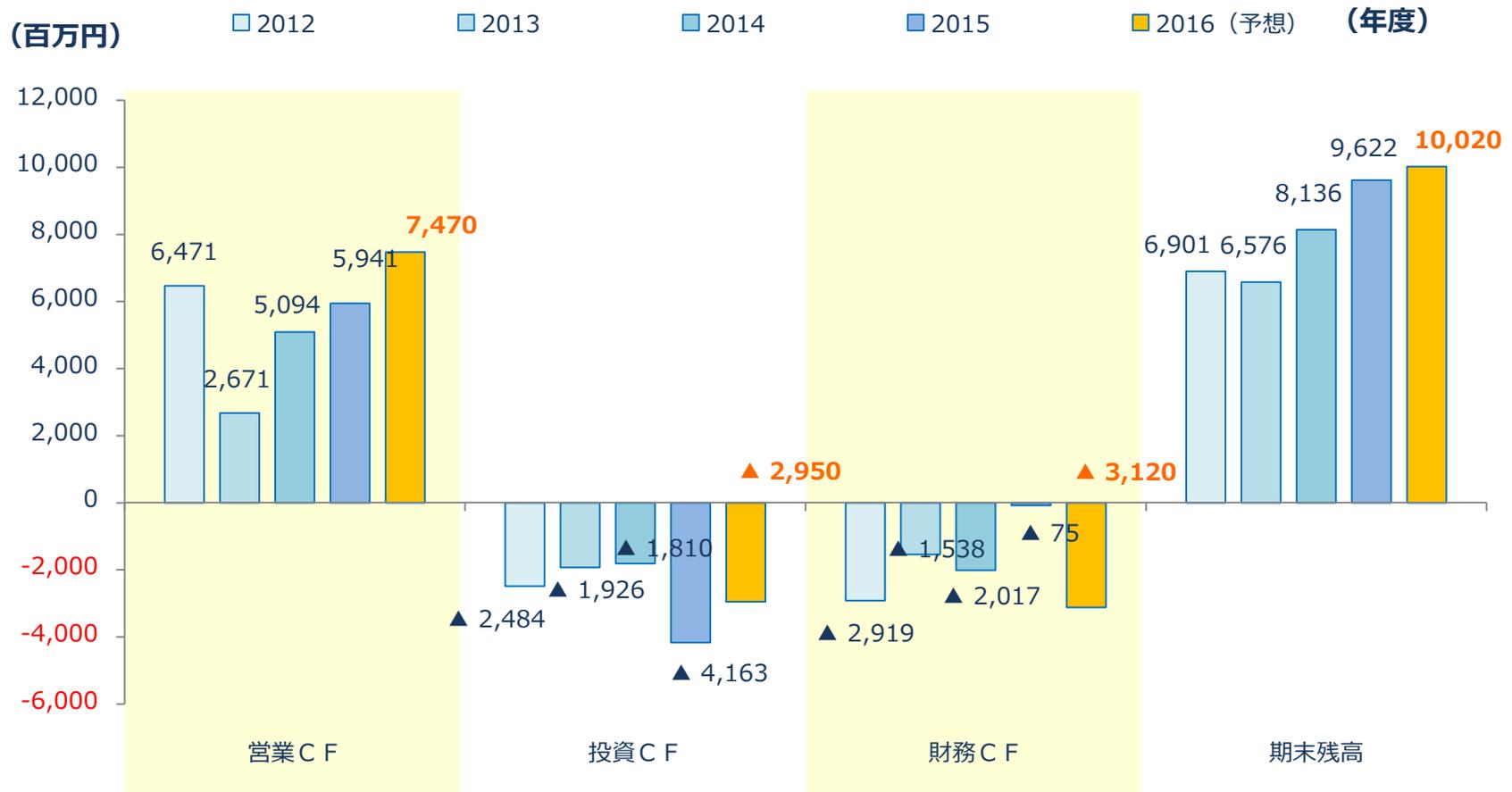


売上原価・販売管理費推移

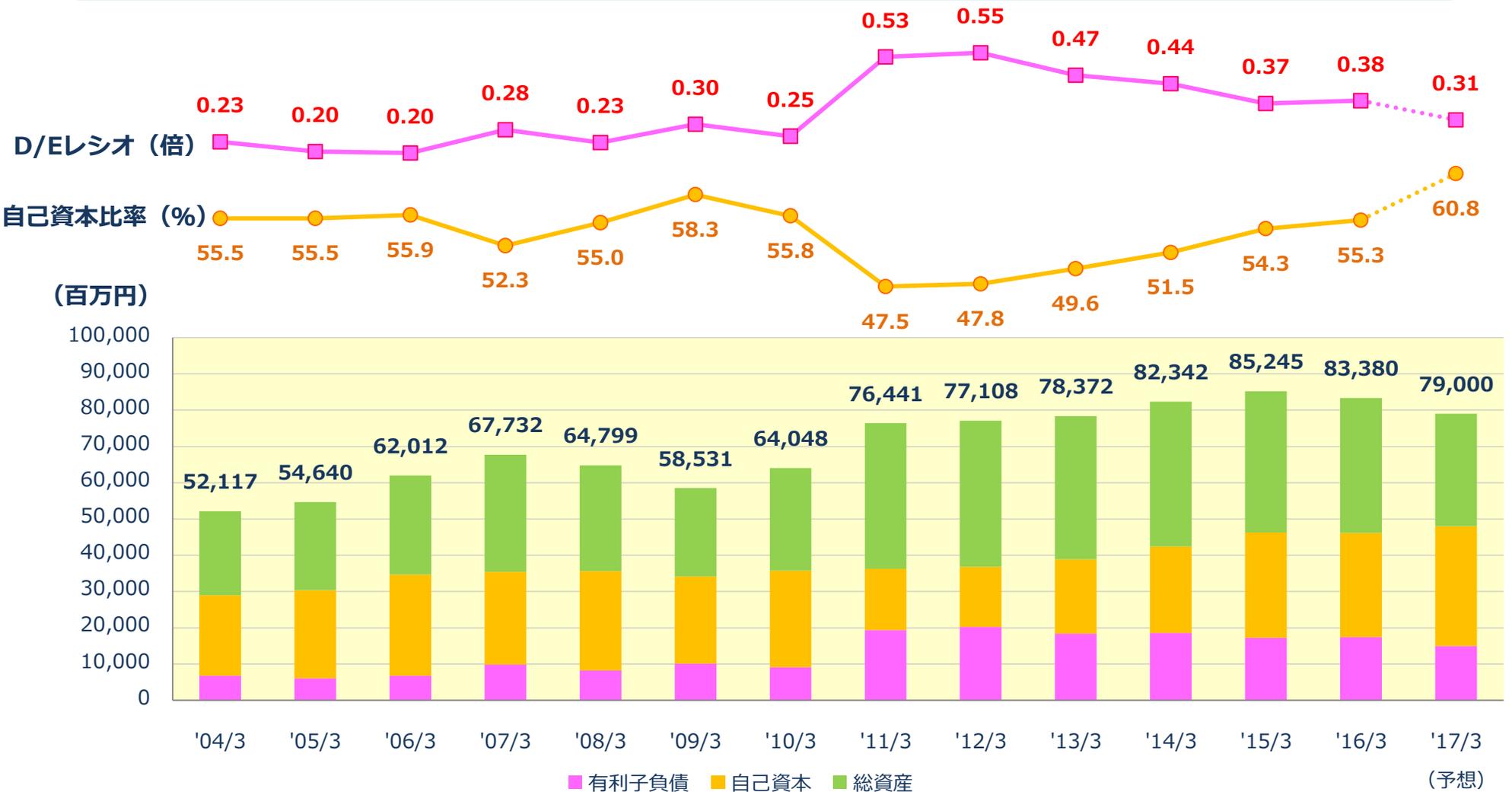


年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 (予想)
売上原価率	81.0%	76.5%	79.7%	82.2%	80.9%	81.3%	81.7%	79.3%	77.1%
販管費率	17.1%	18.5%	16.1%	15.3%	16.3%	15.5%	14.7%	16.1%	17.5%

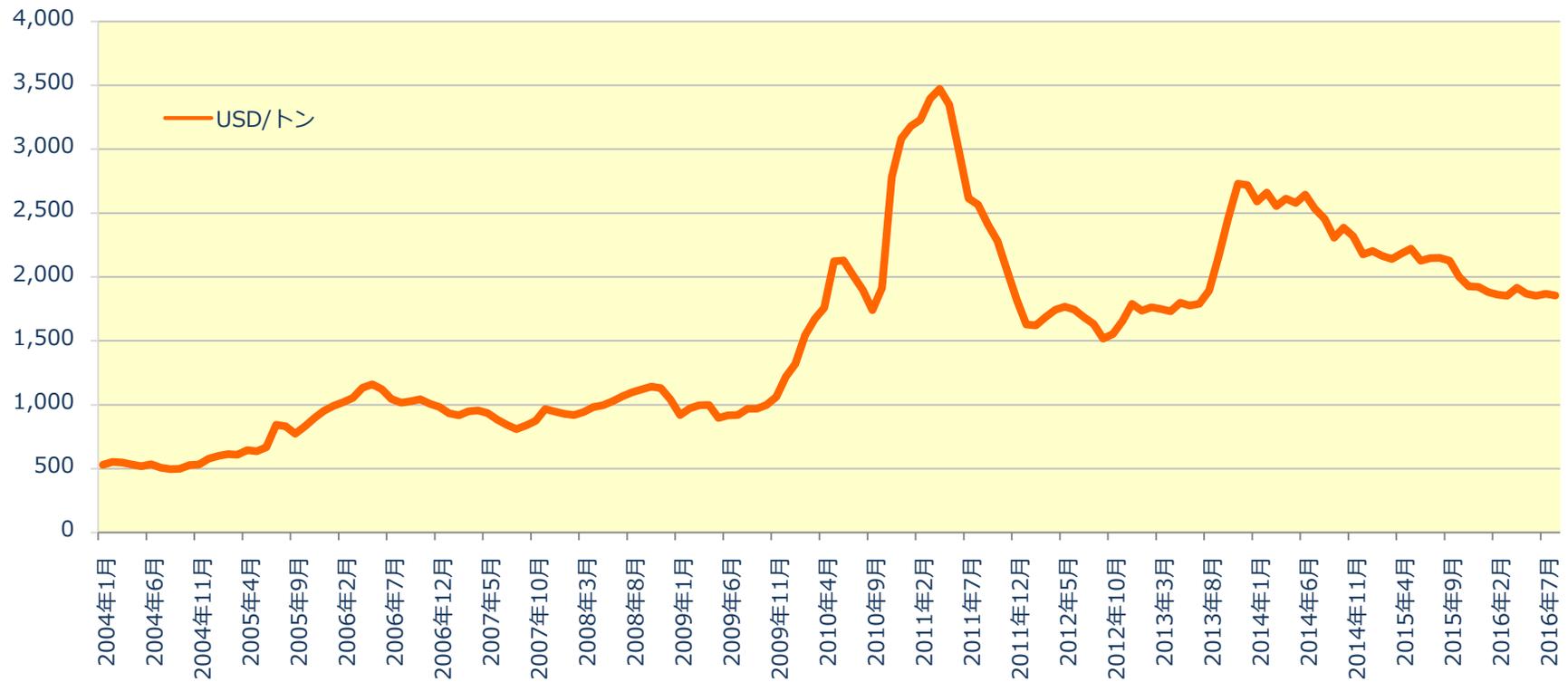
キャッシュフロー推移



総資産・有利子負債推移



□ジン価格の推移



経営目標 (セグメント別)

		百万円			
		2015年度 (※1)	2018年度 (目標)	2020年度 (目標)	5カ年 伸率 (%)
製紙薬品事業	売上高	19,841	23,000	25,000	+26.0
	セグメント利益	1,305	1,550	1,700	+30.3
コーティング事業	売上高	20,502	21,500	23,000	+12.2
	セグメント利益	866	1,000	1,300	+50.1
粘接着事業	売上高	27,397	30,000	36,000	+34.1
	セグメント利益	1,859	2,150	2,700	+45.2
機能性材料事業	売上高	11,086	13,500	16,000	+44.3
	セグメント利益	△155	600	1,100	—
合計	売上高	79,119	88,000	100,000	+26.4
	セグメント利益	3,889	5,300	6,800	+74.9
	新規開発投資(※2)	△302	△700	△1,000	—
	新規開発投資差引後利益	3,575	4,600	5,800	+62.2

(※1) 新セグメントへの組み替え及び新規開発投資を考慮した新しい算定方法による実績値であります。

(※2) 中長期での成長の源泉となるコーポレート研究開発費用であります。

基本方針

SHIFT 実現体制の構築と事業の新陳代謝の実践

1. **SHIFT** 実現体制の構築

いかなる変化にも臨機応変に対応し、持続的な成長を続けるために、経営資源の適正な配置により事業の変革を推進し、現状からシフトさせる。

2. 事業の新陳代謝の実践

SHIFT 実現体制のもと、各事業のミッションを明確にし、集中的、効率的な経営資源を投入することで事業の新陳代謝を促進する。

3. 真のグローバル化とガバナンス体制強化

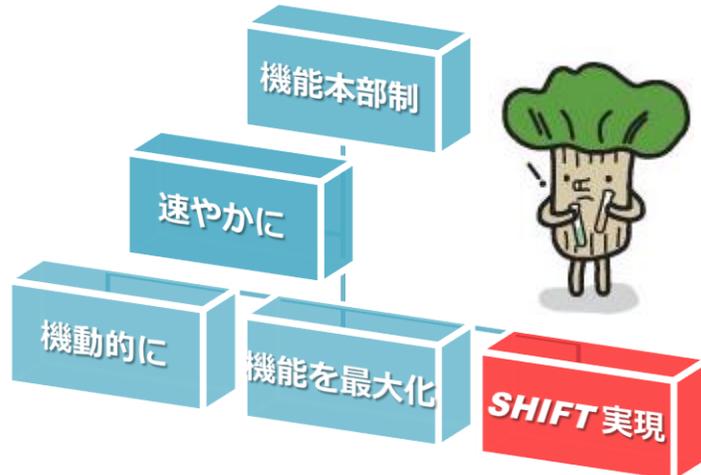
2020年に海外売上高450億円、海外売上高比率45%の達成とアジアNo.1事業の獲得を目指す。さらに、創業150年を迎える2026年には世界No.1事業を有する真のグローバル企業への成長を目指す。また、ガバナンス体制を強化し、経営理念共有を通じて根幹の揺らぐことのない経営を実践する。

SHIFT 実現体制の構築

経営資源の再配置により事業を変革し、**環境の変化**や**顧客ニーズ**に対して**速やかに**、**機動的**に対応できる体制を実現する



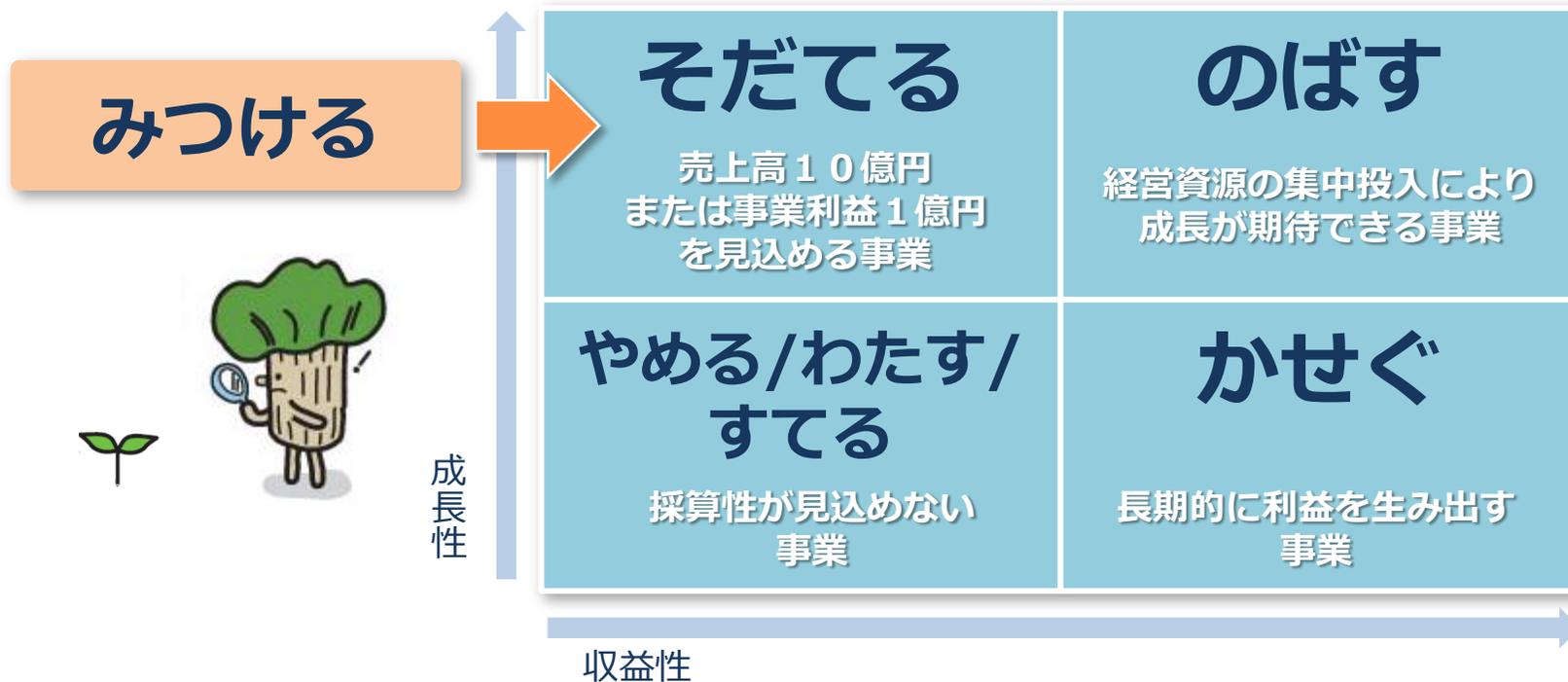
事業本部/研究開発本部/生産本部/管理本部を新設、
資材戦略部を加えた4本部1戦略部を中心とした**機能本部制**を導入



『果たすべき機能』を最大化

事業の新陳代謝の実践

- 各事業をミッションに分類。 **戦略を明確にし、実行する。**



- 事業戦略評価機能による事業評価と経営資源の配分で、研究資源を機動的に投入
- 新規事業探索は、「みつける」ミッションとして、社長直轄の「つなぐ推進チーム」を中心に、グループ全体の探索活動を加速

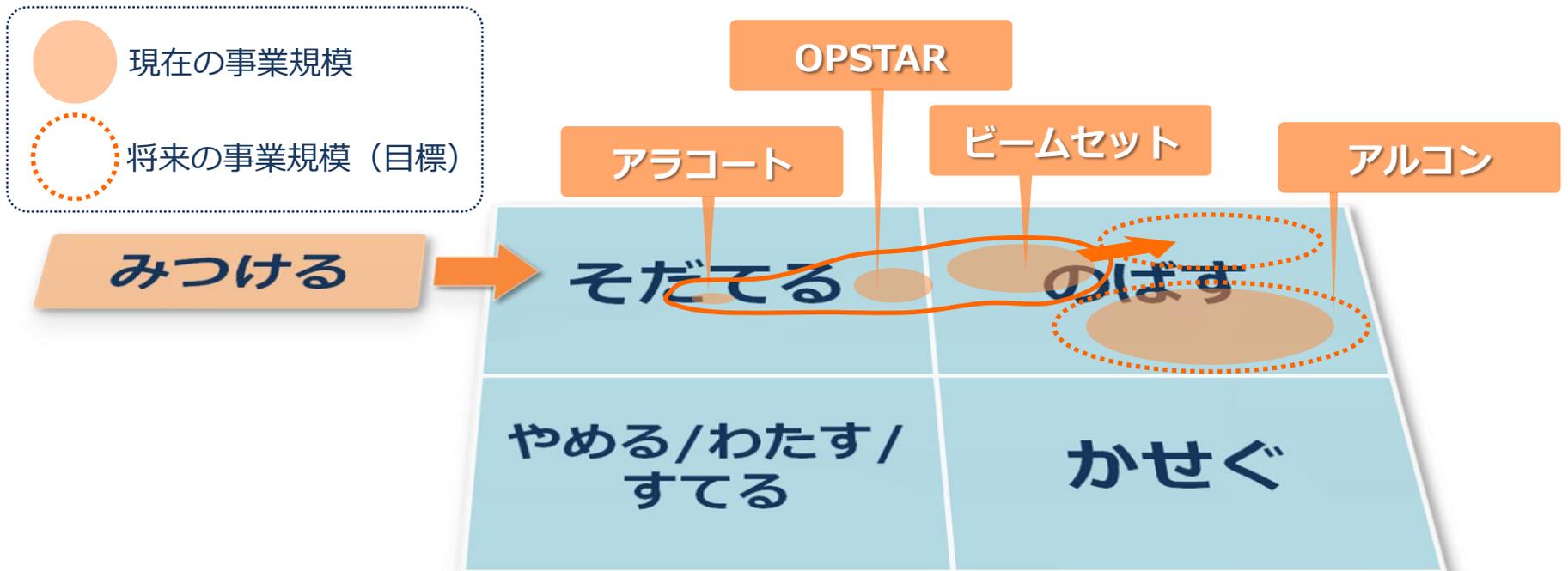
「事業の新陳代謝」の進捗

■ 水素化石油樹脂「アルコン」の共同事業化検討開始

⇒原料の効率的・安定的調達、インフラ有効活用

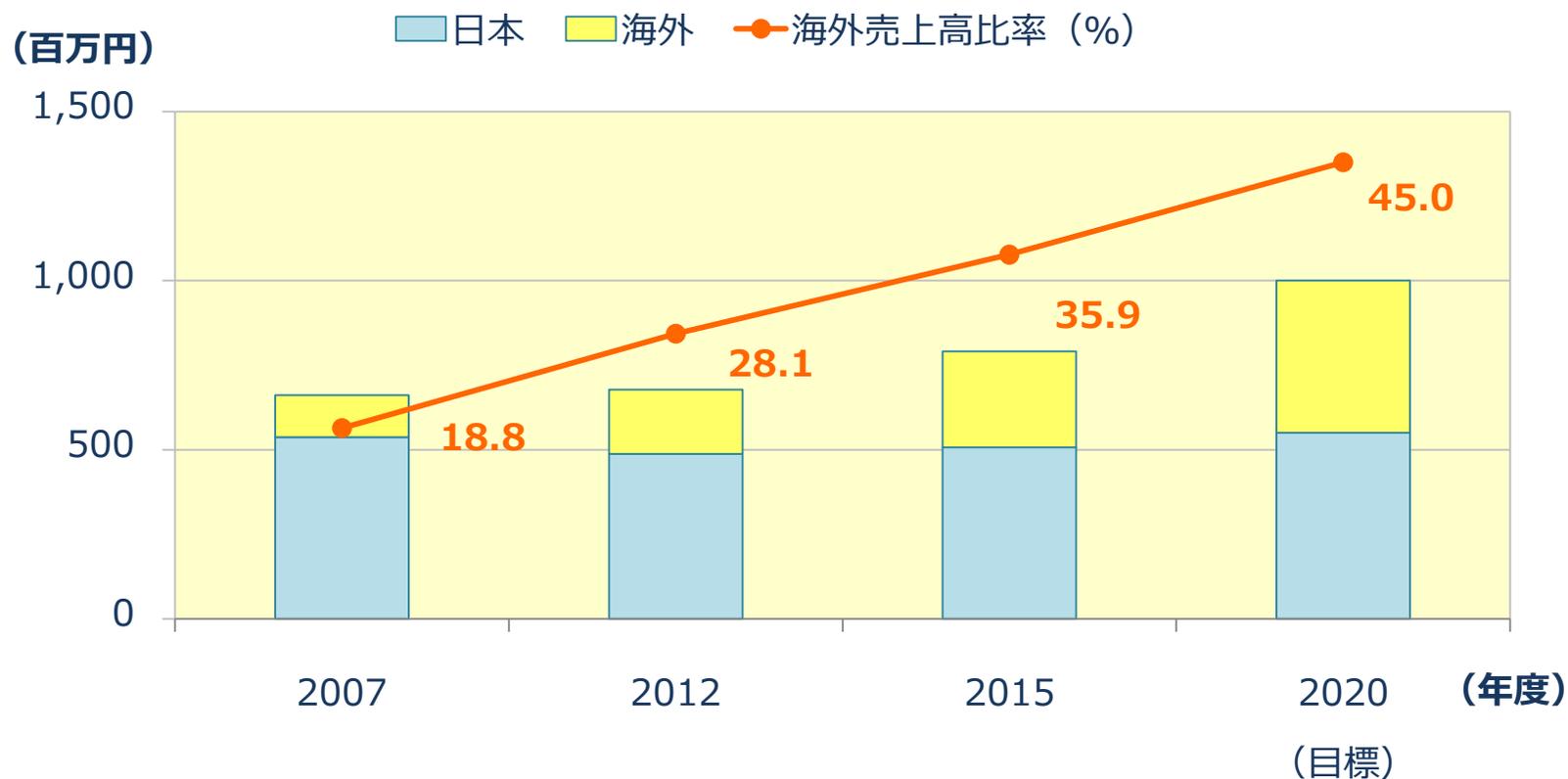
■ JSR(株)液晶ディスプレイ用途の機能性コーティング剤「OPSTAR」事業譲受

⇒「OPSTAR」と光硬化型樹脂「ビームセット」やフィルム用機能性コーティング剤「アラコート」などとの相乗効果を高め、事業拡大へ



真のグローバル化

- 2020年までに各分野でのアジアNo.1事業の獲得し、海外売上高450億円、海外売上高比率45%を目指す。さらに、2026年には世界No.1事業を有する真のグローバル企業を目指す。



ガバナンス体制強化

■ 経営理念の共有と実践（※KIZUNA活動）の継続により、根幹の揺らぐことのない経営を実践する。これを踏まえて、リスク管理や内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンス・コードへの取組みを徹底し、中長期的な収益性・生産性を高め、好循環につなげることで企業価値の向上と社会貢献に努める。

※KIZUNAは、“ARAKAWA WAY 5つのKIZUNA”の略称であり、当社グループの大切にしている価値観・行動指針を明文化したもの



集合研修
(KIZUNAワークショップ)



荒川らしさを次代に伝えていく

お歳暮・ランドセル贈答



懇親会



出張授業



アカマツの植林活動



連結指標

	2015年度	第4次中計期間 (2016年度～2020年度)
総投資金額（5年間累計）	約90億円 (3年間)	約300億円 (M&A枠50億円含む)
減価償却費	27億円	40億円（最終年度）
研究開発投資	28億円	40億円（最終年度）
ROE	5.0%	6.5%以上（最終年度）
・収益性（当期純利益率）	2.9%	3.7%以上 収益力の向上
・効率性（総資産回転率）	0.9	1.0倍以上 資産効率の改善
・健全性（財務レバレッジ）	1.8	1.7～2倍 財務健全性の維持

■当社グループにおいては、ROE（自己資本純利益率）について売上高当期純利益率を向上させることが最も重要なファクターであると考えています。

株式情報

証券コード	4968
決算期	3月
上場取引所	東証1部
単元株	100株
株価	1,535円 (2016年11月24日 終値)
最低所要金額	153,500円
配当利回り	2.08%
P E R	12.60倍
P B R	0.68倍
発行済株数	20,552,200株 (2016年9月末現在)
長期発行体格付	A - : 安定的 (J C R)